

赤笹シャモを交配した新しい肉用鶏の開発

山形県農業研究研修センター畜産研究部

研究のねらい

「おいしい肉を食べたい」という要望に応えるとともに鶏肉の消費拡大と地産地消を進めるため、本県独自の味の良い肉用鶏を開発した。

研究の成果

新しい肉用鶏を作るための品種の組み合わせは以下のとおり。

父鶏：赤笹シャモのオスと名古屋種 of メスを交配した雑種

母鶏：横斑プリマスロック種

新しい肉用鶏の特徴

・肉の中の主なアミノ酸（17種）のうち、うま味に関係のあるグルタミ

ン酸の割合が比較的多く、肉はうま味とコクがあり歯ごたえも良い（図1）。

- ・性質はおとなしく、丈夫で飼いやすい。
- ・羽の色はオスが黒と白(茶)の横じま模様、メスが黒または茶色である。
- ・出荷の目安となる体重を雄 3 kg、雌 2 kg とすると、生後140日程度で



上写真:出荷時
左写真:ふ化直後

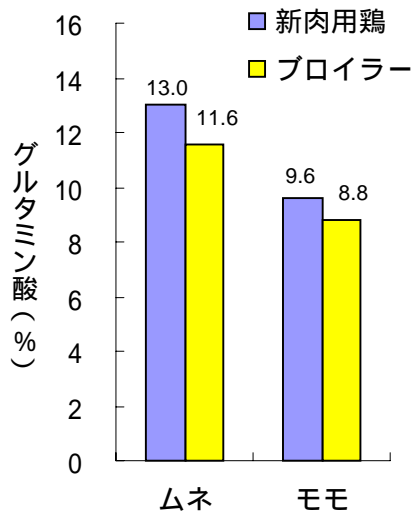


図1 主なアミノ酸に占めるグルタミン酸の割合